

～お子さんのもつ力を最大限に伸ばすことができる学びの場を考えましょう～

個別の支援を必要とする
お子さんのための

就学支援

青少年相談センター（パルクとよた）

お子さんが、学習活動に参加している実感と達成感をもち、充実した時間を過ごせているか、そのように過ごせる「学びの場」はどこかについて考えることは、とても大切です。

もし、集団生活や学習に不安があるようなら、お子さんが楽しく学校生活を過ごせるように学校の先生と一緒に考えていけるとよいですね。

たとえば、こんな心配はありませんか・・・

学習に関すること

- ものごとの理解がゆっくり
- 聞いて理解することが苦手
- 文をたどたどしく読む、読めても意味がわからない
- 文字の形がわからない
- 気が散りやすく最後までやることが苦手



行動に関すること

- 行動がゆっくり
- 落ち着きがなく、じっとしてられない
- 急に予定が変更になるとパニックになる
- 気持ちの切り替えが苦手
- 人の気配や音に敏感



社会性に関すること

- 周りとのトラブルが多い
- 集団行動や行事参加が苦手
- 場に応じた行動をとれないことが多い
- ルールの理解が苦手
- コミュニケーションが苦手



どのような「学びの場」があるのか

小・中学校

居住地校交流

特別支援学校

通常の学級

一般的な集団のクラスです。学習や生活する上で必要な配慮や支援を行います。



通級による指導

主に通常の学級で学習を進めながら、週に1～2時間程度、別室で個別に発達の特性に合わせた支援を行います。学習の補充を行う場ではありません。

交流及び共同学習

特別支援学級

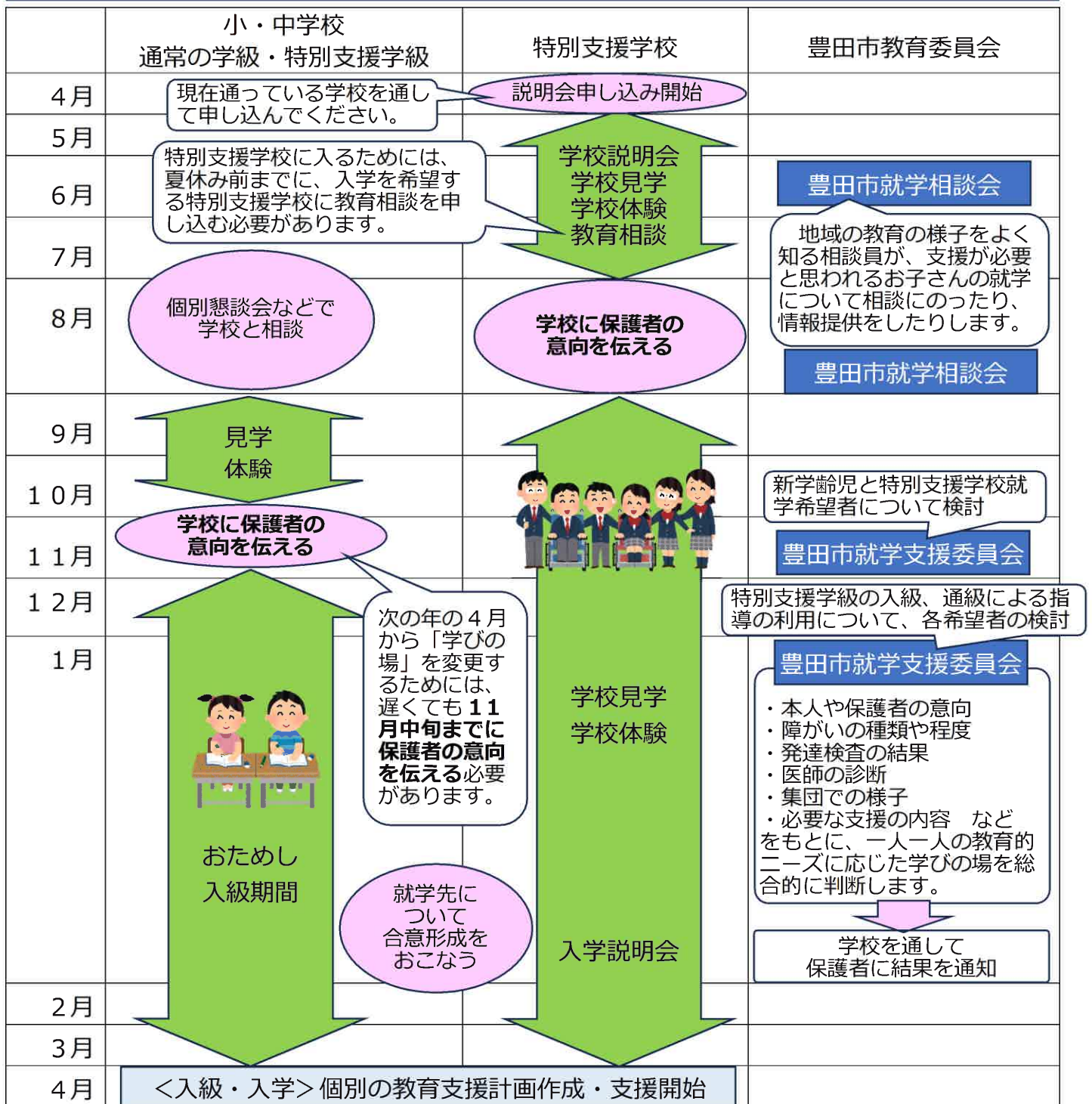
知的障がい、肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴、言語障がい、自閉症・情緒障がいに対応した学級があります。1学級の定員は8人です。一人一人の教育的ニーズに合わせて、学習内容や指導方法を工夫して学習を行います。異学年で構成されることが多いです。

視覚障がい、聴覚障がい、知的障がい、肢体不自由、病弱に対応した学校があります。一人一人の状態に応じて、専門的な指導を少人数できめ細かに行います。居住地の学校と交流及び共同学習も行われています。

くわしくは、各学校の特別支援教育コーディネーターにお問い合わせください



就学支援のスケジュール ～いつまでに、何をすればよいのか～



就学支援 Q&A

Q: 「学びの場」を決めるとき、大切なことは何ですか？

A: 支援方法や学習内容がお子さんにあっているか、見学や体験をして確認することが大切です。「今」だけでなく、将来の進路や自立と社会参加も見据えて、学校とよく相談しましょう。小学校6年生は、青少年相談センター（パルクとよた）で、6月と8月の土曜日や日曜日に行われる就学相談会でも、次年度の就学に向けて相談することができます。

Q: 一度決まった「学びの場」を変えることはできますか？

A: お子さんの発達の状態や適応の状況などによって、変更することができます。例えば、小・中学校の通常の学級から特別支援学級へ、特別支援学級から通常の学級へ、小・中学校から特別支援学校へ、特別支援学校から小・中学校へなどです。それぞれの学校の特別支援教育コーディネーターに相談してください。